

# 2019年度 TAO 東洋医学講座 ここに来れば東洋医学が解る！！ 学ぼう！ あなたにも使いこなせる 臨床に活かす漢方薬！！ これからはじめる漢方薬 ～生薬学解説、処方群解説～

## TAO 東洋医学研究会 漢方薬講習会 6日間（年間コース）

2018年より漢方薬の歯科適用が11方剤となりました。2012年に漢方薬7方剤（歯周病に排膿散及湯、口内炎に半夏瀉心湯、黄連湯、茵陳蒿湯、口渇に白虎加人参湯、五苓散、歯痛に立効散）が歯科保険適用となりましたが、そこへ4方剤（病後の体力増強に補中益気湯、病後の体力低下に十全大補湯、痙攣を伴う疼痛、筋肉関節痛に芍薬甘草湯、上半身の神経痛に葛根湯）が追加されました。大学教育では2017年に歯学教育コアカリキュラムの中に漢方薬が入り、歯学部教育の中で漢方薬が教えられはじめました！医科では2001年から、薬学部では2006年から教育コアカリキュラムに漢方薬が入っており、これで全国全ての医学部、歯学部、薬学部で教えられることになりました。世の中は超高齢社会で、いかに元気で長生きするか（ピンピンコロリ）が論じられています。この社会環境と医療経済を考えると東洋医学しかありません。政府もようやくそのことに気づき始めました。しかし歯科の現状を顧みると、医師の95%が漢方薬を処方していることに対し、歯科医師のほとんどは処方をしていません。理由はこれまでの歯学部教育で教えられてこなかったこと、そして漢方薬のメリットを知らないからです。歯科医院には毎日漢方薬を内服している患者が来院しています。歯科医師にも漢方薬の知識が必要なことは明白です。そして歯科保険適用の11方剤を使いこなせるようになります！身体に優しい、究極の予防医学となる漢方薬の処方は患者が要求しています！



TAO 東洋医学研究会は本年、創立 31 年目を迎えます。毎年、完結する大きなテーマを決め、2ヶ月に1度（年6回）歯科医師のための歯科医療に直結する漢方薬の知識を修得する研修会です。歯科症例検討会では、実際の歯科症例を持ち寄り、医局会カンファレンス方式でのフリーディスカッションを行います。飲み比べ実習では、構成生薬をそれぞれブラインドで配付し、何の生薬か？そして、その組み合わせから出来る方剤が何か？を考えます。最後に生薬と方剤それぞれについて解説し、実際に煎じ薬も飲んで頂きます。ペーパートレーニングは日本東洋医学会専門医試験問題を解説します。年6回のセミナー受講で確実に漢方薬に対するスキルがアップします。

歯科では歯周病や舌痛症、口内炎、顎関節症、歯ぎしり、口腔乾燥症、口臭症、摂食嚥下障害、認知症など漢方薬が有効である疾患が増えており、漢方薬に対するニーズは高まるばかりです。TAO 東洋医学研究会に参加して、正しい漢方薬の知識を習得し、患者からの信頼を獲得してください。

邵先生には生薬学から代表生薬とその薬効解説、飲み比べ実習を担当して頂きます。生薬については中薬各論と言うことで効能効果別に解説して頂きます。小林先生には方剤弁証の観点からの解説と系統別方剤解説、基礎理論確認の Paper Training を解説して頂きます。本年度の講義内容もこれまでとは全く違った内容になります。しかし、これから漢方薬の勉強を始める方にも、ベテランの方にも十分満足して頂ける内容と確信しています。歯科医師、医師、薬剤師はもちろんのこと、歯科衛生士の方も多く参加されています。漢方薬に興味ある方はどなたでも参加できます！

### 講師紹介

邵 輝  
天津中医薬大学客員教授

産業医科大学非常勤講師



小林 宏  
福山大学薬学部講師

漢方薬局誠宏堂主宰



会場：大阪大学中之島センター

日程：各回 午前 10:00～12:30 午後 13:30～16:00

- |                      |                      |
|----------------------|----------------------|
| ・第1回 2019年 5月 26日（日） | ・第4回 11月 17日（日）      |
| ・第2回 7月 21日（日）       | ・第5回 2020年 1月 26日（日） |
| ・第3回 9月 29日（日）       | ・第6回 3月 15日（日）       |

【TAO東洋医学講座プログラム 各日とも10:00～16:00】

回	期日	午前 (邵輝)	午後 (小林宏)
1	2019年 5月26日	解表薬 (麻黄、桂枝、細辛、辛夷、荊芥) すべての病は外邪から・葛根湯は漢方人気No.1・傷寒論の入門	苓朮剤 気血水の「水」の基本処方 は五苓散 ・ペーパー トレーニング (テスト形式で実力をつけていただきます)
2	7月21日	清熱剤 (薄荷、牛蒡子、蝉退、桑葉、菊花) インフルエンザからの歯痛は熱という病・抗炎症は健康のもと	半夏剤 上焦の水滯という概念 ・歯科症例検討会 (実際の症例を持ち寄り、医局会カンファレンス方式のフリーディスカッションで実力をつけていただきます)
3	9月29日	散寒薬 (附子、乾姜、肉桂、鹿角) 現代人の病は冷え・温め療法は東洋医学の基本	石膏剤 浮腫にも実と虚があるので ・飲み比べ実習 (基本方剤の煎じ薬を服用していただき、構成生薬について解説します)
4	11月17日	瀉下薬 (大黄、番瀉葉、麻子仁、芒硝、アロエ) 解毒は便から・口腔の病は腸から・歯科漢方ではよく使う	黄耆剤 黄耆を含む方剤群は大きく分けて3グループ
5	2020年 1月26日	利水滲湿薬 (茯苓、猪苓、沢瀉、薏苡仁、車前子) 気血水は東洋医学の基礎・水の代謝は漢方薬のPoint	理気剤 未来に広がる理気剤の応用
6	3月15日	祛風湿薬 (独活、威靈仙、防己、松節、蒼朮) アレルギー、免疫異常は湿という邪気	竜骨牡蛎剤 気の変調ここに極まれり

参加費 : 歯科医師、医師、薬剤師、鍼灸師 年会費:¥84,000円 各回 ¥6,000円  
 歯科衛生士、看護師、パラスタッフ、学生 (院生含まず) 年会費:なし 各回 ¥6,000円

定員 : 80名

申し込み : TAO東洋医学研究会事務局 〒194-0204東京都町田市小山田桜台2-5-19-103 クラハシ医療システム内  
 TEL042-860-0461 FAX042-860-0462 Email:s-kura@kg7.so-net.ne.jp ホームページ : <http://www.tao-toyo.jp/>

振込先 : 三井住友銀行 横浜駅前支店 普通 2654215 口座名 TAO東洋医学研究会

●阪大中之島センター案内図 大阪市北区中之島4-3-53TEL.06-6444-2100  
 京阪電中中之島線「渡辺橋駅」(1、2番出口)すぐ



氏名	生年月日 年 月 日
TEL	FAX
〒 住所 :	
(診療所名 : ) 診療所が上記と異なる場合 〒 住所	